

仙台の今、未来への責任！

■発行/仙台市議会議員 野田ゆずる
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103 Tel&Fax 022(739)9630

野田ゆずる議会レポート

令和4年第1回定例会報告

■ご意見・ご要望がありましたら
お気軽にお寄せください。

今回の議会レポートは、令和4年第1回定例会報告です。今定例会では、令和4年度一般会計当初予算案など、議案72件、意見書3件を審議・可決、人事案2件に同意しました。令和4年度の一般会計当初予算は、5928億9300万円（昨年比 102.9%）となりました。

今回のレポートは、一般質問で登壇した際の質問と答弁の要点、会派自由民主党 代表質疑の質問項目等を記載させていただきました。是非、一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。



令和4年第1回定例会 野田ゆずる一般質問より (抜粋)

今後の区役所のあり方について

質問 想定を上回る少子化の進行、コロナ禍による地域経済の冷え込みや、デジタル化に向けた社会的な要請等を勘案すれば、区役所においても市政課題や区政の実情を踏まえた、機動的かつ柔軟な取り組みが求められている。

今後の区役所のあり方について市長はどのような認識を持っているのか。

答弁 本市がこれからも多くの方々には、個性あふれる魅力的な地域づくりを進める必要があります。区役所にあっても、地域の実情を最も知るといふその強みを生かし、様々な主体と連携をし、さらなる一步を踏み出すことが重要であると考えている。

質問 街の発展に向けて、市民や企業、地域の意欲を引き出し、縦割り行政施策に横軸を通す、その役割は区役所が担うべきと思うが、さらなる区役所権限の拡充に向けた考えについて伺う。

答弁 区役所が地域の最前線に立ち、住民の皆様のニーズをしっかりとつかみながら主体的に施策を推進していくことができるよう、引き続き区役所のまちづくり機能を高めていきたい。



職員の意識改革について

質問 コロナ禍以降、陽性者の入院調整や自宅療養者への対応、地域経済への対策など、全庁を上げ休日返上で安全・安心な市民生活の確保や、疲弊している地域経済の活性化に取り組んでいることに改めて敬意を表する。

一方、非常に残念に感じる事は、職員の不祥事が後を絶たないことである。

一度事案が発生すると、せっかく築いてきた市民の市政に対する信頼ばかりでなく、真面目に一生懸命働いている職員のモチベーションまで低下してしまい、本市にとって非常にマイナスだ。

職員の意識改革は、従来のやり方だけでは限界にきているのではないかと。すべての職員の意識改革につながる新たな取り組みの必要性について認識を伺う。

答弁 過去に生じた不祥事への対応も契機に、コンプライアンス推進に向けた取り組みを継続してきたが、残念ながら浸透が充分とはいえず、信頼を損なう事態が無くならないことは深く反省すべきものと受け止めている。

現在、新たなコンプライアンス推進計画の策定を進めており、モチベーションのあり方についても充分配慮・検討する必要があると考え、さらなる職員の指導・育成に取り組むこととしている。皆様からの一層の信頼を得られるよう努力していく。

北中山地滑り対策について

質問 昨年7月に発生した熱海市の土石流災害を踏まえ、国は盛り土による災害防止に向けた総点検を指示した。県所管の2カ所、青葉区芋沢地区と泉区北中山地区の盛り土に課題があったと報告された。

本市内で人為的な災害を起こしてはならない。今後、県との協議をどのように進めていくのか、具体的な対策工事等の見通しについて伺う。

答弁 本市においては昨年6月に斜面等の変状を確認し、現地調査を行うとともに、県に情報を提供し、ブルーシートを設置する応急処置を講じる指導を行っている。

現在、本市と県が連携して伸縮計を設置し、斜面の動きを継続的に観察するとともに、地盤の滑り面等を把握するためボーリング調査を実施している。

具体的な対策工事は、年度内に完了予定の地盤調査の結果を踏まえ、影響が及ぶ範囲の特定、地滑りのメカニズムなどを早急に分析し検討を進めていく。



バスタプロジェクトについて

質問 仙台市は広域的な高速道路網を活かし、どのように市内の道路整備を進めようと考えているのか伺う。

仙台駅周辺と結節する仙台東道路の整備が大きな軸となってくるが、この計画がどこまで進んでいるのか伺う。また、合わせて起点・終点となる、仙台西道路との直結についてもどのように計画していくのか伺う。

答弁 仙台東道路は仙台西道路と直結する方向性が示され、今後ルートや構造等について複数の企画案が示される予定だ。

仙台東道路により東北沿岸部と本市都心部を結ぶ高速道路ネットワークが形成され、物流・卸売の中心である市東部地区や仙台港、広域防災拠点等との接続が強化されることから、物流の円滑化や観光事業への対応、交通渋滞の緩和、災害対応力の強化など、広域的な効果が期待できる重要な道路と認識している。

質問 バスタ仙台のプロジェクト内容と進捗状況について伺う。

バスの発着所の集約化が大きなポイントと考えるが、仙台駅を挟んで東西に分散している既存のターミナルをどのよう

に整理統合する考えなのか伺う。

本市都心部の賑わいと魅力を創出するためのグランドデザインを描くことが大切だ。仙

台市が主体となってどのように全体像を描いて、多くの事業関係者と調整していくのかが問われる。当局の見解を伺う。

答弁 高速バスのバス停の集約にあたっては周辺道路交通への影響や、鉄道などの乗り継ぎ利便性、周辺の土地利用状況等を勘案する必要があると考えており、今後、本市の考えをしっかりと国に伝え、関係者とも連携を図りながら交通結節機能強化につなげていきたい。



次世代放射光施設とスーパーシティ構想の連携

質問 次世代放射光施設の整備が着々と進み、期待される産業利用の促進に向けて具体的に知恵を絞る段階に入っている。

これまでハード面、ソフト面それぞれどのような経過をたどり、現在どこまで進捗しているのか伺う。

答弁 施設整備は基本建屋の工事が順調に進んでおり、昨年末時点でほぼ完成し、現在は加速器の搬入が始まっており、今後ビームラインの整備や調整等を経て、令和6年度に本格稼働予定となっている。

質問 特に仙台の活性化と街の持続的成長のカギとなる企業側の反応と動きについてどのような感触を得ているのか。

答弁 施設利用権が得られる加入金については、活用が見込まれる企業の関心も高く、地域パートナーが各々のネットワークも生かしながら獲得に向け連携を図っている。企業からの評価も高く、具体的な利活用に向けた問い合わせもいただいております。引き続き多くの企業の皆様の利活用促進に向け取り組んでいく。

質問 このプロジェクトとスーパーシティ構想を連携し、相乗効果によって魅力ある企業誘致と優秀な人材の地元定着を図る絶好の機会と考えるが、如何か。

答弁 2つの事業が相互に連携し、相乗効果を発揮することによって、企業誘致における本市の魅力は格段に高まるものと考えている。ここで学んだ優秀な人材が地元で定着し活躍できるよう積極的な企業誘致を展開し、質の高い雇用創出につなげていきたいと考えている。

質問 泉文化創造センターの改修工事費として、総額約60億円もの経費が計上されている。公共施設マネジメントプランにおいてどんな検討を行い大規模改修を行うこととしたのか。

答弁 公共施設は「大切に長く使う」という基本方針に基づき取り組んでおり、泉文化創造センターは施設・設備の老朽化の程度や、改修と建て替えのライフサイクルコストを比較した結果を踏まえ、大規模改修工事の方が合理的であると判断し実施することとした。

4 病院の再編について

質問 市内2病院を含む4病院の再編に関して伺う。再編による地域医療体制への影響について市民や医療関係者から多くの不安や懸念の声が上がり切実な問題となっている中、全てが決まってから公表

するという県がいう通り、課題が解決され、地域医療の質の向上が実現する再編が実現できるのか。市には医療提供体制の確保に向けて的確な対応が期待されている。県の考え方、進め方についてどう受け止めているのか。

答弁 県は新年度に仙台医療圏の医療提供体制の現状と課題を整理するとともに、基本構想を作成し、新年度末まで基本合意を目指すとしている。

県においては未だ充分とはいえない市民関係者への説明や疑問の解消を進めていただくことが大切で、適時適切に情報を公開するよう働きかけを強めていきたい。

首長としてのスタンスについて

質問 県政と市政とのあいだには多くの重要かつ難しい行政課題が横たわっている。市民生活に密着した基礎自治体の長としての市長の判断と、知事との判断は時として異なることがある。しかし、市長におかれてはたとえ知事と意見が異なっても市民の幸せのため、東北唯一の政令指定都市の長として主張すべきは主張し、同時に、常に対話を続けながらより良い解決策を共に探っていくという姿勢で市政運営に当たっていただきたい。

そうした姿勢を市民に開かれた場で示し続けていただきたい。この点について市長の見解を伺う。

答弁 私としては仙台市民の皆様からの負託を受けた者として、幸福につながる多くの思いの実現に向けて最大限努力をすべきであり、申し上げるべき事は申し上げていくことが基本と考えている。

引き続き、県とは密接な連携や適切な調整を図りながら109万市民のために市政運営を進めていく考えだ。

声をお聞かせください

仙台市や地域に思う事または、行政や国に対して思う事など皆様のお考えをお聞かせください。下記のハガキにお書きいただき、お近くのポストにご投函お願い致します。

郵便はがき

9 8 1 - 3 1 9 0

(受取人)
泉区上谷刈3丁目7-29
D棟103

仙台市議会議員(泉区)
野田 ゆずる 行

料金受取人払郵便

泉 局
承 認

36

差し出し有効期間
2022年
4月30日まで

切手不要

あなたの声をお聞かせくださいお聞かせください



お名前	フリガナ	生年月日
住所	□□□□□□□□	
電話番号	()	ご職業
意見	お住いの地域のお困り事、普段から疑問等に思うことなど何でもかまいません。仙台市政へのご要望などがありましたらお気軽にご記入お願いします。	
	
	
その他	

皆様からご記入いただきました個人データは「野田ゆずる議会報告」等の連絡などに使用しそれ以外の使用はいたしません。

その他の質疑項目

- 青葉山エリアについて
 - 仙台駅周辺のまちづくり
 - 新型コロナウイルス感染症対策
 - 子育て応援まちづくりについて
 - ヤングケアラー支援について
 - GIGAスクール構想の推進について
 - 不登校対策について
 - 市立夜間中学校設置について
 - 復興公営住宅の減免制度について
 - 雨水対策について
 - 自動車運送事業について
 - ガス事業民営化について
 - G7関係閣僚会議誘致について
- など、多岐にわたり質疑を行いました。